記者発表資料 平成23年9月12日 国土交通省東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所

> 担当:渡部、工藤 電話:022-362-9512

仙台塩釜港仙台港区高砂2号岸壁復旧工事の状況について

1. 概 要

東日本大震災により被災を受けた仙台塩釜港仙台港区高砂2号岸壁(水深-14m、延長330m)の復旧工事が本格化していますので、お知らせ致します。

当該施設は、東北地方で唯一北米航路が寄港するなど東北の国際物流の要で、早期 復旧の要請が極めて強いため24時間体制で工事を進めており、9月15日のクレーン基礎鋼管杭打ち込み開始により工事が本格化します。

2. 報道公開

〇公 開 日: 平成23年9月15日(木)

〇公開内容:高砂2号岸壁復旧工事状況(クレーン基礎鋼管杭打ち込み状況)

〇公開場所:高砂コンテナターミナル内 2号岸壁復旧工事現場

- 〇本件は、別紙 "45フィートコンテナの第1船出航について (日本初)" に引き続き 実施致しますので、別紙様式により9月13日迄に "宮城県土木部港湾課振興班" へ申し込み下さい。
- ○詳細が決まり次第、申し込まれた方に時間等をお知らせ致します。

- 以上 -

記 者 発 表 資 料 平成23年9月5日 宮城県土木部港湾課

担当:振興班 川越、三浦 企画調査班 布川

電話:022-211-3221・3214

45フィートコンテナの第1船出航について(日本初)

日本で初めて、45フィートコンテナが公道輸送され、北米に向けて輸出されます のでお知らせします。

45フィートコンテナの公道輸送については、宮城県が国に申請していた「みやぎ45フィートコンテナ物流特区」が本年3月25日に構造改革特区として認定されたことを受けて、今回、荷主企業である東洋ゴム工業株式会社及び輸送企業の準備が整い、商業ベースでの輸送が開始される運びとなったものです。

45フィートコンテナは、自動車用タイヤを積載し、東洋ゴム工業株式会社仙台工場(岩沼市)から公道を通行して仙台塩釜港高砂コンテナターミナルに搬入され、45フィートコンテナを積載したコンテナ船が9月15日に出航予定です。

この第1船は、内航フィーダー船で、東京港で大型コンテナ船に積み替えられ、北米 (ロサンゼルス港) に向かいます。

1 45フィートコンテナの公道輸送開始に至る経緯

- 公道輸送実験
 - ◇ 平成22年11月16~20日 東北国際物流戦略チーム ((社)東北経済連合会、東北地 方整備局、東北運輸局) が実証実験を実施
- 〇 構造改革特区
 - ◇ 平成23年 2月 3日 国に構造改革特区の認定申請
 - ◇ 平成23年 3月25日 国が構造改革特区を認定

2 「みやぎ45フィートコンテナ物流特区」の動き

- 「みやぎ45フィートコンテナ物流特区」が宮城県全域において構造改革特区として認定されたのを受け、輸送企業が規制緩和要件で特殊車両通行許可を取得
- 規制緩和に加えて税制・財政上の支援措置等が講じられる総合特区についても、本 年9月に指定申請する予定

3 報道公開について

- 公開日時:平成23年9月15日(木)
- 公開内容:コンテナヤード搬入状況及び45フィートコンテナ積載第1船出航
- 公開場所:仙台塩釜港(仙台港区)高砂コンテナターミナル内 ※ 現在、出航時刻等は未定ですので、詳細が判明しましたらご案内します。
- 高砂コンテナターミナルは、保安対策上、立入制限区域となっております。現場の 取材を希望される場合には、事前登録が必要となりますので、下記期限まで、裏面に より当課に御連絡ください。
- 連絡期限:9月13日(火)午後5時まで

FAX 022-211-3296 宮城県土木部港湾課振興班行き

件名:「45フィートコンテナの第1船出航」取材

入 場 者 名 簿

日時:平成23年9月15日(木)

場所:仙台塩釜港(仙台港区)高砂コンテナターミナル内

※ 現在、出航時刻等は未定ですので、詳細が判明しましたらご案内します。

- 高砂コンテナターミナルは、保安対策上、立入制限区域となっております。誠に 恐縮ですが、ご入場される方全員の所属・氏名、及び、来場されるお車の車種とナ ンバーをご記入ください。
- 集合場所や時刻等のご連絡のため、直接つながる電話番号をご記入ください。
- 出航シーン撮影希望の有無(有 ・ 無) ← いずれかを〇で囲んでくだ さい。
- 9月13日(火)午後5時までにご連絡ください。

ご所属	ご氏名

車種	ナンバー

(当日のご連絡先)

TEL

連絡先

宮城県土木部港湾課 振興班 川越、三浦

TEL: 022-211-3221 FAX: 022-211-3296